

# しおじり

平成26年 10月15日

No. 191

7月臨時会  
9月定例会 合併号

# 市議会だより



塩尻の山 からたきの峰（洗馬）  
（左奥）

発行 塩尻市議会

〒399-0786

長野県塩尻市大門七番町3番3号

電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

Eメール [gikai@city.shiojiri.lg.jp](mailto:gikai@city.shiojiri.lg.jp)

編集 塩尻市議会基本条例推進委員会  
広報部会

## もくじ

7月臨時会・9月定例会概要	2
委員会の焦点	3
一般質問の要旨	4~9
平成25年度決算概要	10
議会報告会報告	11~14
提出された議案及び議決結果	15
市民の声・議会あれこれほか	16

# 議会トピックス

- ▼平成25年度決算認定議案についてすべて認定
- ▼ふれあいセンターの入浴施設利用料改定を可決
- ▼請願・陳情4件の内、3件を採択し、意見書を関係機関に提出

## 9月定例会

8月20日  
～  
9月12日

### 9月定例会概要

9月定例会では、平成25年度の一般会計、特別会計の決算認定を含む市長提出議案39件と、市民等からの請願・陳情4件、議員提出議案4件について審査を行いました。

#### 主な議案

○議案第1号 平成25年度塩尻市一般会計歳入歳出決算認定について

**歳入**  
274億7,263万円余  
前年度対比3.3%増

---

**歳出**  
267億441万円余  
前年度対比2.1%増

**歳入** 景気の回復傾向の動き等により、法人市民税、固定資産税などの市税が前年度に對して増加。地方交付税については、普通交付税と、除排雪対策経費の算入等により特別交付税が増加。  
**歳出** 義務的経費のうち、扶助費が増加したが、人件費及び公債費が減額。大型公共事業の実施に伴い、普通建設事

業費が増額、2月の大雪に伴う除排雪経費の大幅な増額があったことによる。

○議案第12号 塩尻市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例

地域における市民の交流を促進するとともに、市民の福祉活動を支援し、地域福祉の推進を図る拠点として、塩尻市ふれあいセンター広丘を設置し、ふれあいセンターの入浴施設利用料を1人1回200円から300円に改めるものなど。

○議案第13号 塩尻市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の規定に基づき、市が、子どものための教育・保育給付の支給認定を行う際の要件として、保育の必要性の認定に関する基準を定めるもの。現行制度



本会議場での採決の様子

からは、求職活動等が要件として明記されること、同居親族の保育の要件がなくなること等が変更になる。

#### 補正予算歳出(目的別)

総務費	601,494千円
民生費	9,239千円
衛生費	220千円
農林水産業費	31,567千円
商工費	82千円
土木費	100,151千円
消費費	943千円
教育費	22,483千円
災害復旧費	4,194千円
合計	770,373千円

○議案第23号 平成26年度塩尻市一般会計補正予算(第2号)

**歳出の主なもの**  
総務費 平成25年度繰越金の一部を基金に積み立てるもの。庁舎耐震改修工事の追加工事が必要となったため、工事を増額するもの。

**農林水産業費** 6月の降ひょうにより被害を受けた農業者支援のため、病害防除に必要な殺菌農薬の購入経費に対する補助金を補正するもの。信州Fパワープロジェクトに関連し、片丘地区の森林路網計画策定のための委託料のほか、森林経営計画策定に向けた委託料を補正するもの。

**土木費** 塩尻市ふれあいセンター広丘に関連する市道堅石高出線道路改良事業のため、交差点部分の用地取得費等を増額するもの。

**教育費** 小中学校へ除雪機を配備するため備品購入費を増額するほか、大雪により破損した小中学校体育館屋根の修繕工事を増額するもの。

### 7月10日 7月臨時会概要

市長提出議案1件の審査を行いました。

○議案第1号 塩尻東小学校大規模改修工事請負契約の締結について

塩尻東小学校大規模改修工事について、1億7千712万円で、岡谷・フルハタ特定建設工事共同企業体と契約を締結するもの。



夏休み中に改修工事が行われた塩尻東小



# 委員会の焦点

～委員会審査報告から～

## 旧渋沢団地跡地 宅地分譲

経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、決算案件5件、条例案件1件、事件案件2件、予算案件4件で、いずれも原案のとおり認定および可決すべきものと決しました。



分譲販売を待つ旧渋沢団地跡地

平成25年度一般会計歳入歳出決算における住宅リフォーム補助事業では、補助金額2千500万円に対して、補助対象工事費は約2億6千万円で、10倍の経済効果があったとの説明を受けました。

平成25年度簡易水道事業は、榑川浄水場と贅川地区を結ぶ連絡管路を延長295・1m施工され、整備が完了することにより贅川浄水場が廃止されるとの説明を受けました。

## ふれあいセンター 条例改正

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、平成25年度塩尻市一般会計および二つの特別会計の決算認定、条例案件6件、人事案件1件、26年度一般会計補正予算など、予算案件2件、陳情1件で、慎重審査の結果、いずれも全員

一致で、認定、可決、同意、採決すべきものと決しました。塩尻市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例については、ふれあいセンター広丘の設置に伴い必要な改正および入浴施設利用料を300円とするものとの説明を受け、浴場の清掃管理、入浴施設の位置づけ、利用料値上げの検討の進め方などを質したの対

し、管理は、指定管理者が行い、公衆浴場法の「その他の公衆浴場」にあたり、条例等で価格が決められる。洗馬は利用委員会、広丘も、圏域の区長会推薦の委員会を設置し検討した。との説明を受け、「十分な検討を求める署名」が寄せられた。利用者へ責任ある説明、対応等の意見が出されました。



ふれあいセンター洗馬

## 今後も慎重な 財政運営が求められる

総務環境委員会

総務環境委員会に付託された議案は、平成25年度一般会計の所管する部分と、国民健康保険事業等3つの特別会計の決算案件、市営住宅渋沢団地跡地整備事業に伴う字の区域を廃止する等2件の事件案件、26年度一般会

計補正予算など3件で、いずれも原案のとおり認定および可決すべきものと決しました。焦点の一般会計決算は、歳入が274億円余に対し歳出は267億円余、翌年度へ繰り越すべき財源1億円余を除いた、実質収支は6億2千万円余の赤字との説明を受けました。本市の財政状況は市税と地方交付税とも増額になり、経



庁舎改修事業  
耐震化のための補強ブレース

費の節減に努めたこと等により、実質公債比率等が改善したとのことでした。一般会計補正予算は、庁舎改修事業の補強ブレースに耐火被覆を行うと説明がありました。「手話言語法」制定を求める意見書に関する請願につきましては、全員一致をもって採択することに決しました。

# 市政を問う!!

## 一般質問の要旨

質問者

柴田 博

鈴木 明子

永井 泰仁

宮田 伸子

山口 恵子

丸山 寿子

青木 博文

横沢 英一

中村 努

(質問順)

※本文は質問者自身の原稿によるものです



「仕事」と「子育て」の両立に更なる支援を

### 保育園の入所要件判断は



◆子育てしやすいまちづくりを

**問** 「子ども・子育て支援法」では市の保育園入所要件に変更はあるのか。(山口)

**答** 新制度では65歳未満の同居親族等が家庭にて保育できる状況でも、保護者のみが保育できるかどうかで判断する。

**問** 子育ては、妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない支援が重要だ。特に出産直後の一カ月が、良好な母子の愛着形成を促進するうえでとても大事な時期である。更に虐待や育児放棄の予防にもつながることから、産後ケア事業を第五次総合計画に位置づけ

ないか。(山口)



子育て相談の窓口「子育て支援センター」

し、サポートの強化を図ることが重要だが考えは。(山口)

**答** 「産後ケア事業」は子育て支援に欠かせない重要な施策であるので今後、計画策定をしていきたい。

**問** ファミリーサポート事業は妊婦健診時や産後等に利用したくとも料金が高く利用しにくい。減免制度が必要ではないか。(山口)

**答** 非常に重要と考えるので検討する。

**答** サポートを必要とする方のため助成制度を検討したい。

**問** 子育て環境に地域の力を

**問** 児童クラブ・児童館への地域住民の協力は。(丸山)

**答** 今後、教育制度の見直しにより必要に応じ検討する。

**答** 一部、地域の講師としてボランティアを含め、お願いしている。さらに地域の教育力を活用していきたい。

**問** 学習支援等の学校ボランティアによるサポート体制を整備してはどうか。(宮田)

◆きめ細やかな学校教育を増員の計画はあるか。(宮田)

**答** 教育振興基本計画の中で地域の力をどのように取り入れるか検討している。



今年度大規模改修が行われた塩尻東小

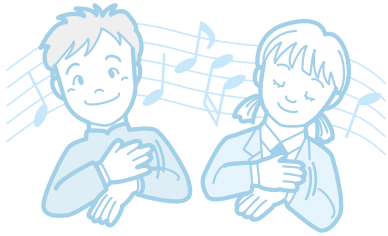
**問** 学校コーディネーターの配置も検討すべき。(宮田)

**答** 非常に重要と考えるので検討する。

**問** 大規模改修の際、土曜日授業など学校行事を削らない検討が必要と考える。来年度以降どう対応するか。(宮田)

**答** 各教育委員会の判断で行えるので、総合的に検討する。工夫し、学校行事に大きな影響がでないよう進めたい。





早期改修が待たれる公園のブランコ

**◆図書館サービスの充実を**  
**問** 移動図書館車導入の考えはあるか。(宮田)  
**答** 総合的に考えていきたい。(宮田)  
**問** 塩尻駅にブックポストを配置してはどうか。(宮田)  
**答** 前向きに検討していく。  
**◆公園遊具の一括管理を**  
**問** 課により修理等の対応が違うのは問題である。(宮田)  
**答** 今後研究していく。  
**◆塩嶺体験学習の家**  
**問** 開設から5年目を迎えている。利用状況、活用上の課題、鉱研工業との契約更新はどのようになるか。(鈴木)



**問** 平成25年度の利用は最高時の73%だが、23年度から実  
**◆介護保険について**  
**問** 介護保険のサービス申請で、基本チェックリストにより、専門的サービスか、NPO・ボランティア・民間企業などによるサービスを振り分けることになるのか。認定による判断のもと必要なサービスを受けられるようにすべきではないか。(鈴木)



**◆介護保険のサービス申請**  
**答** 訪問型、通所型サービスのほか、生活支援を組み合わせた総合事業を行うことにな  
**◆介護保険のサービス申請**  
**問** 介護保険のサービス申請で、基本チェックリストにより、専門的サービスか、NPO・ボランティア・民間企業などによるサービスを振り分けることになるのか。認定による判断のもと必要なサービスを受けられるようにすべきではないか。(鈴木)



塩嶺体験学習の家の広い活用を望む



理解を深め地域で支える力を

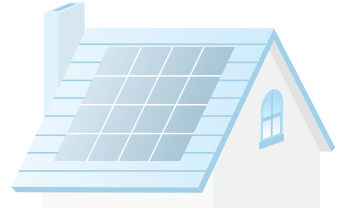
**◆認知症対応**  
**問** 新設のふれあいセンター広丘へ「認知症カフェ」設置の考えは。(丸山)  
**答** 認知症施策推進5か年計  
**◆認知症支援について**  
**問** 市の認知症サポーターの人数、性別、年代と、養成講座の開催状況は。(青木)  
**答** 認知症サポーター数は、4千345人で、男性1千213名、女性3千132名となっており、年齢は、19歳以下が、174名、20歳から59歳以下が1千93名、60歳以上が3千78名である。養成講座は、社会福祉協議会に委託し、年間30回程度開催している。

**◆認知症対応**  
**問** 新設のふれあいセンター広丘へ「認知症カフェ」設置の考えは。(丸山)  
**答** 認知症施策推進5か年計  
**◆認知症支援について**  
**問** 市の認知症サポーターの人数、性別、年代と、養成講座の開催状況は。(青木)  
**答** 認知症サポーター数は、4千345人で、男性1千213名、女性3千132名となっており、年齢は、19歳以下が、174名、20歳から59歳以下が1千93名、60歳以上が3千78名である。養成講座は、社会福祉協議会に委託し、年間30回程度開催している。

**◆障害者支援の充実**  
**問** 手話言語条例の制定の考えはあるか。(宮田)  
**答** 県の動向を注視しながら、前向きに検討する。  
**問** タブレット型端末を利用した遠隔手話通訳サービスを広く周知すべき。(宮田)  
**答** タブレットを公共施設に配置することは必要と考える。  
**問** 障害者虐待相談件数は数件である。これをどう捉えているか。広く市民に啓発の必要があるのでは。(宮田)  
**答** 実態はもっと多いと思う。啓発は大切である。機を捉えてパンフレットを作成したい。



「塩尻市手話言語条例」設置へ前向きな取り組みを



保健福祉センターに設けられた  
給付金受付窓口

## 申請状況で 期限延長も

◆臨時福祉、子育て世帯の2つの給付金について

**問** 臨時福祉、子育て世帯の給付金の申請状況と申請期限の延長の考えは。(青木)

**答** 臨時福祉給付金は、8月27日現在の対象者1万1千74人で62・71%、子育て世帯臨時特例給付金は、対象者7千589人で79・48%の申請となっている。申請が進まない理由としては、申請手続きが面倒、書類が小さい字で読みにくいこともあるので、広報や民生児童委員の協力で申請を促し、更に状況次第では、申請期限の延長も検討していく。



新エネルギー活用に有効な補助制度の継続を

◆空き家の利用で活性化を  
**問** 塩尻市空き家バンクがあるが活用されていない。真剣に取り組みべきでは。また、空き家は市域全体に増えているので、これまでの区域から都市計画区域にも拡大をすべきでは。そして危険な建物は撤去できる条例化を。(横沢)

**答** 本年3月末の市内空き家総数は630件であり、何らかの問題があると判断した空き家は210件で、その内、倒壊等の恐れがあると推測された建物は、16件あった。国の法整備の動向を見ながら、条例化は検討する。空き家バンクの登録件数は3件で、成約件数はない。今後は市街化区域への拡大、「移住定住施策」と連携した見直しや「地域おこし



高ボッチ塩嶺トレイルルート  
(岡谷防空監視哨跡付近)

協力隊」の活用などを研究している。

なお、第五次総合計画でも考慮する。

◆新エネルギー設備の補助金  
**問** 太陽光発電補助金の申請が締め切られている。予算額減となった理由は。(鈴木)

**答** 予算枠の中で太陽光発電、ペレットストーブなど振り分けている。太陽光発電は買い取り価格、設備価格の低下などを勘案し予算額を設定した。

## トレイル 3年計画で 推進

◆高ボッチ高原でトレイルを

**問** 塩嶺王城観光協議会で検討中の進捗状況は。(横沢)

**答** 県の元気づくり支援金を

活用し、3年計画で整備中、本年6月に塩尻峠から、塩嶺小鳥のみち、初期中山道経由し小野駅まで歩いたが自然観察、ビューポイント、街道ウォーキング等でトレイルランニングには有効とのこと、整備に取り組んでいきたい。

◆市内観光地の多言語案内  
**問** 市内の外国人観光客の入り込みと、多言語案内の取り組み状況は。(丸山)

**答** 平成25年に奈良井宿観光案内所来訪者は274人で微増だった。25年度は3カ国の標記整備を図った。パンフレットおよびホームページは英語の他、2〜3カ国での情報提供中である。英語のできる人の配置やWi-Fi(無線ネット接続)も含め検討し環境整備を進めていく。



奈良井宿の多言語案内板





大改修案でサブアリーナの建設が可能とされている駐車場部分

# 新体育館建設 維持費の影響は

◆新体育館建設について

**問** スポーツ関連予算費の、対一般会計比率の推移と、新体育館建設後の維持管理費による増額はバランスにどう影響するか。(中村)

**答** 平成21年度0.50%、22年度0.48%、23年度から25年度が0.49%。新体育館で想定する維持管理費は6千750万円となり、0.77%に上がる。県内類似都市では、0.41〜0.61%であるが、バランス的に突出するわけではないと考える。

**問** 市長が、建てる建てないの決断をしないから、職員は出口の見えない仕事をしなければならぬし、議会での議



高い性能を発揮する除雪用ホイールローダー

論は進まない。最たるコストだ。市長選で判断を示し、民意を問うべきだ。(中村)

**答** 判断する自信がない。市長選はトータルの選択で、単一事業の賛否ではない。

◆新体育館整備について

**問** どの案に決まっても現体育館の改修は必要になる。床の張り替えなど最低限の改修は、すぐに実施できるよう準備すべきではないか。(柴田)

**答** 現体育館の大規模改修に決まった場合、内装等の改修も必要になる。床張り替えを先に施行することはできない。

# 防災・災害への 対応は

◆除雪ロータリー車について  
ドーザーと比較し、格段

に除雪が早く、排雪も同時にでき、市民の利便性、時間短縮による経費削減にもなるのでは。(中村)

**答** 大変高価な機材であるため、稼働しない場合のリスクがある。県で配備を検討しており、可能なら活用したい。

◆安心・安全な街づくりを

**問** 総務省事業「ICT街づくり推進事業」の提案事業が進められ、現在市内で調査・研究中の土中水分センサーと傾斜計・震動計を組み合わせた土石流検知システムを開発中とのこと。この塩尻発のシステムをどの様に活用し、広島市・南木曾町の様な土石流から住民を守るのか、今から開発者・コンサルタント・庁内関係課で研究すべきと思うがどうか。(横沢)

**答** 大事なことなので、その



土中水分センサー  
観測点6ヵ所で観測中



塩尻消防署にある雨量計

◆災害発生時の対応について  
**問** 先日、台風11号の豪雨により鈴鹿市等では、市内全域に避難指示が出された。本市でもそのような状況になった場合、どのような対応をされるのか。(柴田)

**答** 新しいガイドラインでは、避難というのは安全な箇所に身を置くということで、公共施設などに全員が集まるということだけではない。自宅の二階や山側でない部屋に移るなども避難であるとしている。

**問** 災害時の屋内避難施設の継続的な整備が必要と考えるがどうか。(柴田)

**答** 避難施設が少ない地域については、今後公共施設の再整備に当たって拡充していくという方向はもっている。



被害を受け倒伏したトウモロコシの畑

◆7月31日の風雨等の被害と雨水排水対策は

**問** 被害農家の救済支援策と応急雨水排水対策は、角前や九里巾南の住宅地域の排水問題を解決するため、野村桔梗ヶ原地区土地区画整理事業と合わせた整備を。(永井)

**答** 農作物被害は片丘と広丘が多く、レタス、トウモロコシ、果実の落下等で、被害額は965万円余、緊急支援は病害虫防除の農薬、代作用の種苗代や肥料等の支援をJAと協力して実施する。畑への雨水進入防止はアスカーブの破損箇所を順次直す。野村角前地区排水の一部を雨水幹線へ接続するため、本年度排水路80mを新設し応急策を講じた。区画整理については、地権者の同意率が63.8%と低く、計画エリアの縮小を提案して同意

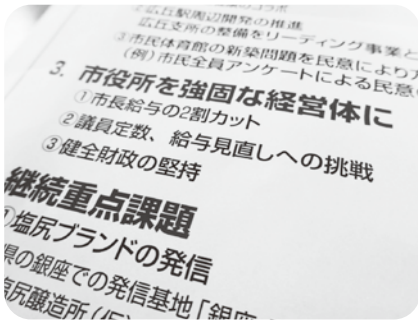
### 市長選の公約に 関して

◆市長の選挙公約について

**問** 市長給与2割カットに伴う副市長等の給与と議員定数や報酬の考え方は。(永井)

**答** 市役所を強固な経営体に改革するため、自己責任と自己決定の覚悟を示し、基盤固めに向けた一助としたい。副市長、教育長の給与も同じ方向で検討する。議員定数については、より簡素で効率的な議会運営をしていただく必要性から定数の見直しと、議員

率を高めたい。九里巾南の雨水排水の抜本策は、田川左岸4号雨水幹線により放流する計画で、区画整理事業との整合が事業化する前提。



議会としての視点を示した議論を



本会議審議中の議場

報酬額は議員活動の活性化と議会の機能アップにふさわしい額を考え、報酬審議会に諮ったうえで提案したい。

**問** 議員定数と報酬の見直し  
市長は、議会の活性化のため見直すと言っているが、議会の現状をどう評価しているか。(中村)

**答** 他の地方議会と比較し、劣っているとは全く思っていない。過日、北川早稲田大学教授から塩尻市議会が進化しているとの電話を頂いた。若い人が政策議論できる議会が望ましい。定数は正の議論が不足している。

**問** 定数削減やわずかな報酬増が、議会改革や若い人の挑戦の機会の増につながる関係は他市の例を見てもない。議論の時期ではない。(中村)

### 公共施設へ ペレットストーブ 導入は

◆信州Fパワープロジェクト

**問** 木質燃料利用促進も含め、公共施設や学校へのペレットストーブ等の導入は。(丸山)

**答** 公共施設及び学校への導入は、ストーブ更新状況を見て設置を図る。化石燃料高騰の中、ペレット燃料への転換での費用対効果を民間にもアピールしていく。

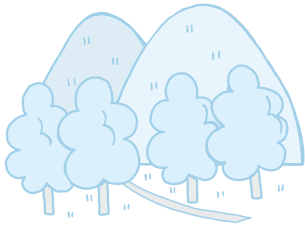
**問** 大人だけでなく、子ども向けにも環境及び産業教育のための冊子の作成と、写真や映像での資料作りの考えはどうか。(丸山)

**答** 小学校高学年と中学生用冊子を作成した。写真・映像についても記録を残し、市民



児童・生徒向け  
信州Fパワープロジェクトの説明冊子





**問** 民間発電事業の冷却方式は水冷か空冷か、燃料に建築廃材を使用するのか。(永井)

**答** 地下水確保が難しいため復水器は空冷式を採用、燃料は未利用材と一般木材に限定。

**◆** 信州Fパワープロジェクト

**問** 山のお宝ステーション事業で、実際に自伐、山林整備への見通しはどうか。また、高齢化などで、自伐できない場合等への対応は。(鈴木)

**答** 所有する山林に目を向けるきっかけとなり、森林活性化を期待する。自伐できない等の場合も農林課で相談を。財産区、林野組合などへの説明会での意見要望も活かし、事業を推進していく。

やバイオマスツアー(視察)等へも活用していく。



各地で行われる山のお宝ステーション事業作業従業者講習会



自衛隊の募集パンフレット

**◆** 自衛隊の募集活動について

**問** 集团的自衛権行使容認の閣議決定により「海外で戦争する国」への道が開かれ、自衛隊の位置づけが大きく変わってくる。今後の自衛隊員募集への協力については再検討すべきではないか。(柴田)

**◆** 適切な基金額について

**問** 財政を黒字にすることは必要だが、基金を増やすことが目的になってはいけない。適切な財政調整基金額についての考えはどうか。(柴田)

**答** 明確な基準はないが標準財政規模の10〜15%といわれている。本市の場合は19.6%となっている。

**「基金」額の基準は**

**◆** ふるさと納税の取り組み拡充について

**問** 受け入れ実績の推移と寄付者の居住地の傾向は。(青木)

**答** 本市の実績は、平成20年度8件51万5千円、25年度16件101万円、26年度53件109万円(8月22日現在)となっている。寄付いただいた方の居住地は、主に東京都中心の首都圏や愛知県となっている。

**◆** 人口減少問題と今後の対策について

**問** 日本創世会議の当市の推計人口に対する提言は。(青木)

**答** 提言によると、当市の推計人口は、2千40年の総人口が5万3千412人と推計されており、2千10年の総人口6万7千670人と比較して、1万4千258人の減少となっている。

**◆** 若者の社会参画推進を

**問** 市の将来は若者世代の参画が重要、啓発活動は。(山口)

**答** 選挙管理委員会では学校にて出前講座を実施している。子どもたちは委員の話や投票箱等興味を持ち選挙の大切さを認識できたと思う。今後も小中学校で実施していきたい。



人口減少対策のために有効な活用が期待される開発誘導エリア



小学校で行われた選挙管理委員会の出前講座

**◆** 若者の社会参画推進を

**問** 平成22年に本市で初めて子ども議会を開催した。若者が政治に関心を高められるよう今後の取り組みは。(山口)

**答** 子ども議会では小学6年生の10人が登壇した。今後政治的関心の底上げを図るためにも検討したい。

学校では新聞を活用したり社会の授業と関連し学ぶ事が大事。家庭でも話題にしたい。ただき関心を高めていきたい。

現在は、法定受託事務として募集に協力している。ご理解願いたい。

**◆** 若者の社会参画推進を

**問** 市の将来は若者世代の参画が重要、啓発活動は。(山口)

**答** 選挙管理委員会では学校にて出前講座を実施している。子どもたちは委員の話や投票箱等興味を持ち選挙の大切さを認識できたと思う。今後も小中学校で実施していきたい。

# 「塩尻市の財政状況」

(平成25年度  
塩尻市決算説明資料より)

**塩尻市の起債残高** = 「塩尻市の借金の総額。市民一人当たり約87万円」

(単位：百万円)

	H23	H24	H25
塩尻市	61,152	60,798	59,175

市の一般会計や介護保険事業などの特別会計、水道事業などの公営企業会計などすべての会計を含めた借金の総額。

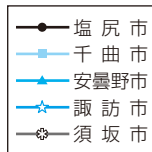
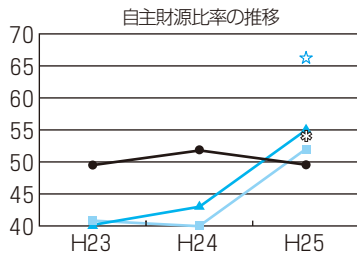
類似団体	H26.3末人口	備考
塩尻市	67,737人	H17.4.1合併
千曲市	62,581人	H15.9.1合併
安曇野市	99,262人	H17.10.1合併
諏訪市	51,146人	
須坂市	52,084人	

塩尻市の財政状況をわかりやすくするため、4つの数字について県内の類似団体の数字と併せて掲載しています。

類似団体＝国（総務省）が人口及び産業別就業人口の構成比によって分類したもので、県内では千曲市と安曇野市、諏訪市、須坂市の4市が、塩尻市と同じ分類です。

※平成25年度から諏訪市、須坂市が類似団体に追加されました。

**自主財源比率** = 「収入源を、国や県に頼っていない割合」

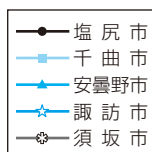
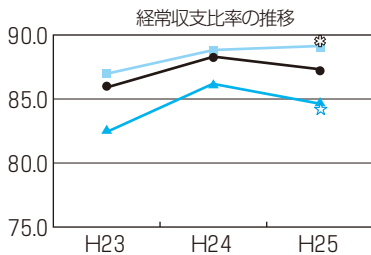


(単位：%)

区分	H23	H24	H25
塩尻市	49.1	51.9	49.4
千曲市	41.6	40.3	52.4
安曇野市	40.4	42.9	55.0
諏訪市			66.6
須坂市			54.3

市が自主的に収入し得る財源（地方税・使用料・手数料・財産収入等）の歳入総額に占める割合。行政活動の自主性と安定性を確保し得るかどうかの尺度。

**経常収支比率** = 「数値が少ないほうが、ゆとりがある」



(単位：%)

区分	H23	H24	H25
塩尻市	86.1	88.5	87.2
千曲市	86.9	88.6	88.9
安曇野市	82.7	86.3	84.7
諏訪市			84.3
須坂市			89.1

人件費や公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税、地方交付税などの経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見ることで、財政の弾力性が判断できる指標。一般的に市は75%程度が妥当とされている。

**積立金残高** = 「いざという時のための積立金」

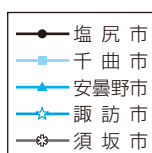
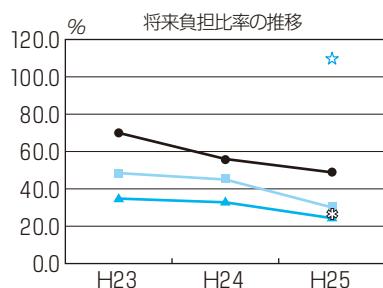
(単位：百万円)

区分	H23	H24	H25
塩尻市	5,192	5,736	5,903
千曲市	8,466	9,807	11,956
安曇野市	15,699	14,911	15,656
諏訪市			4,612
須坂市			5,665

将来の財政需要や不測の事態に備えるために積み立てているもの。



**将来負担比率** = 「市の年収に対する借金残高の割合」



(単位：%)

区分	H23	H24	H25
塩尻市	70.7	57.1	49.9
千曲市	49.3	45.1	31.2
安曇野市	35.0	33.0	25.1
諏訪市			110.9
須坂市			27.5

市の一般会計等の地方債（借金）残高のほか、水道事業などの公営企業、市が出資している第3セクター等に対する借金を含めた額から市の標準的な年間収入を割ったもの。国はこの数値が、350%（借金残高が標準年収の3.5倍の額）を超えるとイエローカードとしています。



# より開かれた議会を目指して

## 塩尻市議会

# 第6回議会報告会を開催しました

議会報告会の概要を掲載します

7月5日、7日、8日に第6回議会報告会を開催しました。

今回は午前の部と午後の部を行い、午後の部では各常任委員会の3月議会の予算審査の様子を報告した後、それぞれの開催場所ごとにテーマを設け、市民の皆様と意見交換を行いました。

予算審査については、各常任委員会で特に論点となった点を取り上げ報告しました。  
・総務環境委員会 デジタル移動系防災行政無線整備について、信州しおじりふるさと寄附金制度について

・福祉教育委員会 特色ある教育活動事業交付金について  
・経済建設委員会 塩尻ワイン大学の設置について、山のお宝ステーション事業について、平成26年2月の大雪による被害状況について

7月8日の午前の部では初めての試みとして、ワークショップを行い、市民と「子どもを安心して生み育てられるまちづくり」について意見を交わしました。

### ■第6回議会報告会担当表

#### ・議会報告と意見交換

開催日	時間	場所	担当班	サポート班
7月5日(土)	午後7時30分～ 午後9時	吉田地区センター	3班	1班
7月7日(月)		宗賀支所	2班	3班
7月8日(火)		市民交流センター	1班	2班

#### ・議会報告とワークショップ

開催日	時間	場所	担当班	サポート班
7月8日(火)	午前10時～ 午前11時30分	市民交流センター	全員	

\* 正副議長は班には所属せず、総括として出席しています。

### ■班編成

1班	宮田伸子	横沢英一
2班	金子勝寿	牧野直樹
	金田興一	鈴木明子
	青木博文	古畑秀夫
	森川雄三	青柳充茂
	中原巳年男	
	丸山寿子	永田公由
3班	中原輝明	務台 昭
	西條富雄	永井泰仁
	山口恵子	塩原政治
	柴田 博	

## 吉田地区センター 安全で機能的なまちづくり



吉田地区センター (7月5日)

**問** 教育委員会は通学路の除雪予算を持っていないのか。

**答** 持っていません。昔から通学路は保護者が雪かきすることとなっているが、少子化で問題になっている。地区によって違つかもしいないが、秋の地区懇談会で誰がどこを雪かきするか除雪計画を立てている。人力で無理な場合は、区に要望し、区長中心で除雪計画をたて、市で費用は持つPTAでできる所とできない所の計画をたてて欲しい。

**問** 県道を市が除雪したら県ともめたと聞いたが、その後どうなったのか。

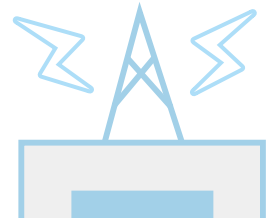
**答** 市内で活動する3つの団体が連名で請願を出された。委員会審査の討議の中では「意見書を出すべきだ」「アメリカが守ってくれたから戦争がなかった」などの意見が出された。採決結果は、賛成少数で不採択。本会議では委員長報告の不採択に対する反対意見が2つ出たが、採決結果は委員長報告に賛成が多かった。

**問** 「集団的自衛権」の請願について、委員会でも本会議でも不採択になった経緯を聞きたい。

**答** 市民からいろいろな意見があるのは理解している。誤解してはいけないのは、議会も平和にするために、という方向で議論している。

**問** 大門商店街のことである。県道は県の契約した業者がやるが、木曾の方で時間がかかり市内県道の除雪が遅れた。県道を除雪しないと市道が除雪できなかったため、市の業者が独自の判断で除雪したブルとなった。国・県と連携をとるの答弁であったが、具体的にはまだのようだ。

**答** 連携をとるようにしている。調整会議をすると聞いている。



### 宗賀支所

塩尻の特色を生かした  
まちづくり



宗賀支所（7月7日）

**問** 「山のお宝ステーション事業」をより具体的に説明をして欲しい。

**答** 産学官で進めている信州Fパワープロジェクト関連の事業。自伐林家が搬出した間伐材を集積基地で買い取る事業で、塩尻市振興公社に委託したもの。まだ、明確な計画の提出はなく、年次の計画が提出されると思う。

**問** 伐採は素人でもできるが、山奥から搬出するのが問題だ。谷の奥の山から、所有者の判明しない間伐材をどうやって搬出するのか。また、倒木はねじれている、流木は石が絡

んでいるなどで使用できないが、持ち込めるか。山間地の整備が進むのは良いことだ。

**答** 伐採は事前に申告した山のみで、事前登録された者しか持ち込めない。また、川の流木は持ち込めない。周知徹底のために、事前説明会を予定している。

**問** 「信州しおじりふるさと寄付金制度」をより具体的に説明して欲しい。

**答** 例えば、1万円の寄付のうち、確定申告すれば、納付金の2千円以上の部分が税控除される。それに、地元産品が送り届けられるという制度。塩尻市では、ワインなどのまごころ特産品セットや市内博物館の無料入場券や広報しおじり1年分が贈られる。

**問** 特色ある教育活動事業交付金として、各校に20万円配布したが効果はどうか。

**答** 上限200万円である。榎川中学校では被災地見学、他では農業体験・吹奏楽部の地域公演会などに使われている。  
**問** 200万円は一過性のものか。  
**答** 2年間継続の予定である。ただし、良いことなので減額でも継続するように働きかけていく。

### 市民交流センター

安心して暮らせる  
福祉のまちづくり



市民交流センター（7月8日）

**問** デジタル移動系防災行政無線を整備することにより、改善される内容について説明してほしい。

**答** 統制局、基地局、中継所等を設置することにより、感度が良くなる。さらに、関係機関の連携が良くなると共に、地域の情報が市の本部に上がってくる。

**問** 防災行政無線の聞き取りにくい場所があるが、対策はどうなっているのか。

**答** 屋内装置の設置をお願いしている。

**問** 塩尻市において手話言語条例を制定してほしい。

**答** 現在、県レベルで制定に向けての動きが出てきている。  
**答** 条例が制定されることにより、環境整備が進むと考えている。

**問** 介護予防事業が地区においてくるようだがとも対応できない。市として、なんらかの手立てをしてほしい。

**答** 制度変更した地域包括ケアシステムが始まり、一人ひとりに適したサービスを探り

始めている。要望については行政側にしっかり伝える。

**問** 信州Fパワープロジェクトについて、道路整備はどうなっているのか。

**答** 住民の意見を聞いて市と県で道路改良を進めている。  
**問** こうした事業は当初より予算が膨らむがどうか。

**答** 事業に関わる資金は全て征矢野建材が持つので、市からの持ち出しはない。

**問** 平成27年度から操業を開始することだが間に合うか。

**答** 製材工場は27年度に稼働する予定だ。発電プラントの稼働は遅れると聞いている。





# 7月8日 午前の部 市民交流センターでワークショップを開催！

## 「子どもを大切にしよう」 「子育てを楽にしよう」 「お金のことを考えよう」

市民交流センターの午前の部では、3つのグループに分かれてKJ法によるワークショップを行いました。

塩尻の子育て等について、「良いところ・困っているところ」「どうすれば解決できるのか・私にできること」「あったらいいな、こんなこと」を順に意見を出し合い、模造紙にそれぞれの意見を書いた付箋を貼っていき、ワークシヨップで出された意見をいくつか掲載します。



グループに別れて意見交換

### 良いところ

- ・ イベントが多く楽しめる。
- ・ 給食が自校給食であり、給食で地産地消が行われている。
- ・ 給食がおいしい。
- ・ 子育て支援センターや広場が充実。
- ・ 木育が行われていて良い。
- ・ 元気づき支援事業が充実している。
- ・ 自然が豊か。

### 困っていること

- ・ 市内に出産できる病院がないなど産科医の不足。
- ・ 公園の維持方法を改善して欲しい。
- ・ 公園が少ない。
- ・ まだまだ発達障がいについて理解が少ない。
- ・ 通学路の整備が進んでいない。
- ・ 保育園入園のハードルが高い。
- ・ 先生や保育士をもっと増やして欲しい。



発表する参加者

### 「どうすれば解決できる?」 (私にできること)

- ・ 子ども遊び場に空き地を利用。山や川で遊ぶ。
- ・ 公園管理改善の実情を訴える。公園の看板を手作り。
- ・ 市民の手でみんなが集えるイベントや催しを開く。
- ・ 子育て世代の親が気軽に交流できる場所、イベント等を行う。
- ・ 地域の中で子育て経験者の力を生かして子育て支援。
- ・ 発達障がい理解の講座や人材育成事業をする。
- ・ 子育て情報看板をえんぱーくにつくる。
- ・ 地域の子ども達への挨拶、声かけを積極的にする。
- ・ 公園や小川の掃除や草刈を地区、保育園、学校やボランティアで行う。
- ・ 各地域でみまもり隊をつくらせて通学路をまわる。

### あったらいいなこと

- ・ 地区ごとの土曜日学校。
- ・ 自然体験の時間を確保。
- ・ 旧保育園の活用。
- ・ 各支所に児童館要素。
- ・ 一人親世帯への支援。
- ・ 遊びのリーダーの育成。
- ・ 企業内保育所。
- ・ 急なときに子どもを預けられる環境を増やす。
- ・ 孫育て講座。
- ・ ボランティア学生の学習塾。
- ・ 森林教室での間伐体験。
- ・ 自校給食の継続。給食調理員の研修会をし、自校給食のレベルアップを図る。
- ・ 幼稚園への給食の支給。
- ・ 託児、産婦人科医の設置。
- ・ 「ゆっくり走ろう」の看板や通学路の看板を増やす。
- ・ ファミリーサポート料金の引き下げ。



たくさんの付箋が貼られた模造紙



塩尻市議会基本条例を平成23年に施行して以来、議会報告会を開催しております。第1回議会報告会は、大門と広丘の2会場で行いました。また、24年度と25年度は春と秋にそれぞれ5地区ずつ開催しました。いただいたご意見は、推進委員会を中心に検討後、行政側へ進捗状況の調査を実施し、その後、議会だよりやホームページを通じて報告しています。また本会議や委員会での質問等に取り上げるなどとしてきました。

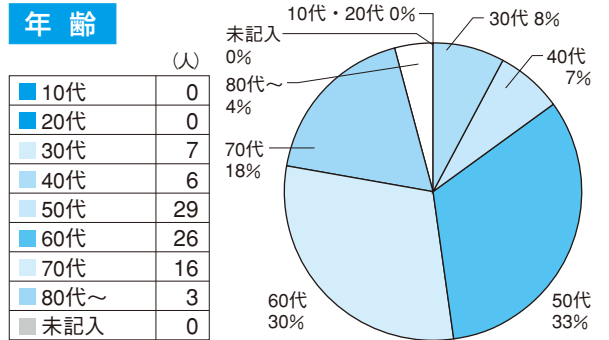
今年度の報告会は、7月の1回とし、市内3会場で夜間に開催し、それぞれテーマを設定してご意見もいただきました。

また、昼間開催の要望を受けて午前中にも1回実施し、初めてワークショップを導入しましたが、年齢層の拡大が図られ、発言しやすかったとの感想もいただきました。

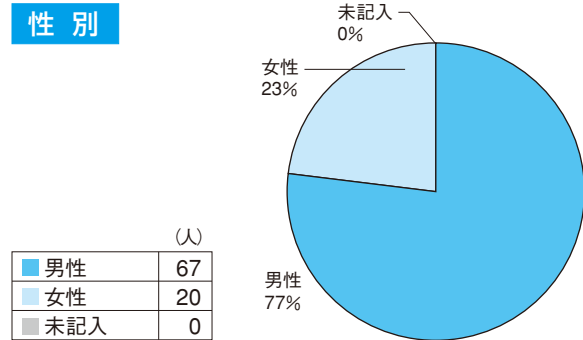
今後とも幅広く市民の皆様にご参加いただけるよう取り組んでまいりますので、ぜひ、議会報告会に足を運び、ご意見をいただきますようお願いいたします。

アンケート結果 (回収率 83%)

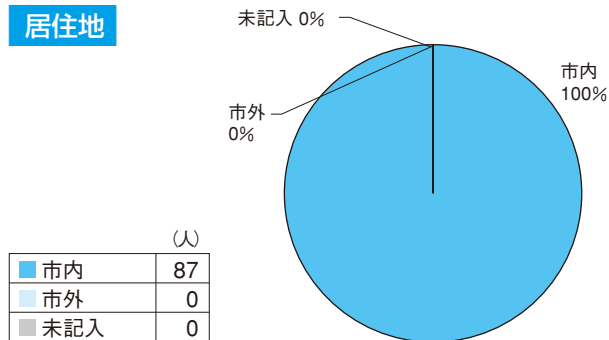
年齢



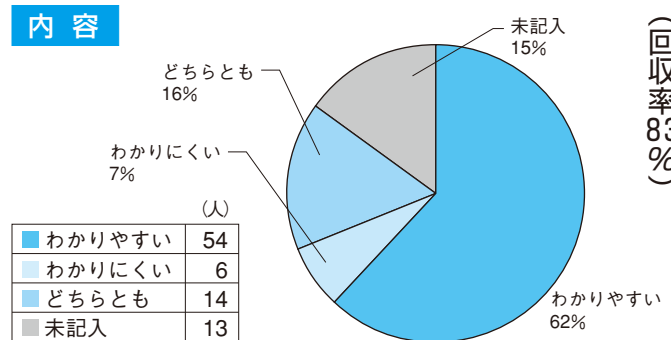
性別



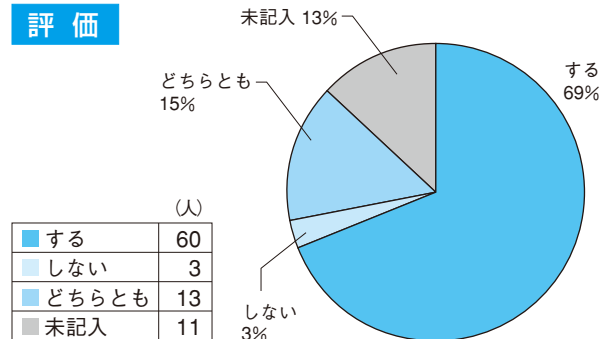
居住地



内容



評価



多くの皆様にご参加をいただき、まことにありがとうございます。今年度の議会報告会の開催は今回のみとなります。来年度に開催する議会報告会にも皆様のご参加をお待ちしております。



# 9月定例会に提出された議案及び議決結果

## 市長提出議案（39件）

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案1号	平成25年度塩尻市一般会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	21号	塩尻インキュベーションプラザの指定管理者の指定について	21	0	原案可決
2号	平成25年度塩尻市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	22号	財産の処分について	21	0	原案可決
3号	平成25年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	23号	平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第2号）	21	0	原案可決
4号	平成25年度塩尻市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	24号	平成26年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
5号	平成25年度塩尻市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	25号	平成26年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
6号	平成25年度塩尻市国民健康保険榑川診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	26号	平成26年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
7号	平成25年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	21	0	認 定	27号	平成26年度塩尻市水道事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
8号	平成25年度塩尻市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	21	0	原案可決及び認定	28号	平成26年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
9号	平成25年度塩尻市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	21	0	原案可決及び認定	29号	平成26年度塩尻市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決
10号	平成25年度塩尻市農業集落排水事業会計決算認定について	21	0	認 定	報告1号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
11号	塩尻市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	2号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
12号	塩尻市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	3号	健全化判断比率について	-	-	報告受理
13号	塩尻市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	4号	資金不足比率について	-	-	報告受理
14号	塩尻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	5号	平成25年度及び平成26年度株式会社信州ファームの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
15号	塩尻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	6号	平成25年度塩尻市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
16号	塩尻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	21	0	原案可決	7号	平成25年度一般財団法人塩尻市文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
17号	塩尻市営住宅管理条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	8号	平成25年度一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
18号	人権擁護委員の候補者の推薦について	21	0	同 意	9号	平成25年度一般財団法人塩尻市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
19号	字の区域の廃止について	21	0	原案可決	10号	平成25年度一般社団法人塩尻市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
20号	塩尻情報プラザの指定管理者の指定について	21	0	原案可決					

## 議員提出議案（4件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議 会 1 号	塩尻市議会基本条例の一部を改正する条例	21	0	可 決
2 号	「手話言語法」制定を求める意見書	21	0	可 決
3 号	私立高校への公費助成に関する意見書	21	0	可 決
4 号	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書	21	0	可 決

## 請願・陳情処理状況（請願2件・陳情2件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
請 願 1 号	「手話言語法」制定を求める意見書に関する請願	20	0	採 択
2 号	集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	6	14	不 採 択
陳 情 1 号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情			福祉教育委員会 採 択
2 号	農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求めることについての陳情			経済建設委員会 採 択

## 9月定例会 賛否が分かれた請願の採決結果

番号	件名	議 員 名																				
		宮田伸子	横沢英一	西條富雄	青木博文	務台昭	金子勝寿	山口恵子	牧野直樹	古畑秀夫	金田興一	永井泰仁	森川雄三	青柳充茂	中原巳年男	鈴木明子	中村努	丸山寿子	柴田博	塩原政治	永田公由	中原輝明
請 願 2 号	集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	○	×	×	×	×	-	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×

・賛成は○、反対は×、退席は－ ・議長は表決に加わらないため、21人の議員で採決が行われました。

8月3日、区の役員の皆さんと一緒に何年ぶりかに草競馬に参加しました。午前8時には競馬場に着きましたが、もう県内外の馬主さん、馬、また見物人が多数来ていて驚きました。競馬場も昔よりきれいに整備されていました。

高ポッチ高原  
草競馬と観光



片丘 昭子さん  
やまざき あきこ  
山崎 昭子さん

馬の種類も農耕馬のような、ガッチリタイプの馬は見えず、皆競走馬のようなスッキリタイプでした。久しぶりに近くで競馬を見る事ができ楽しく過す事ができました。この日はあいにくの曇り空でしたが天気の良い日は富士山も見え、周りも花々が咲きいい観光地だと思います。もっともっと高ポッチ高原宣伝してもいいのではないのでしょうか？塩尻の観光、奈良井宿、ワイン工場、塩尻の名産レタス、ぶどう、漆器。今年は4宿40年を迎えるにあたり観光通過点塩尻ではなく、塩尻泊りの観光地になって欲しいものです。

市民の声

私は、山歩きの経験を役立てようと、5年程前「塩尻市自然保護ボランティア」に入会して、顧問の先生や会員と共に、その主旨にもとづき活動しております。年に数回、奈良井川上流、茶臼山周辺の自然保護観察パトロールの案内役を担当しております。茶臼山は、市南端にそびえる最高峰で、近くには信濃川・木曾川・天竜川水系の分水界があり、奈良井川源流を垣間見る事も出来ます。市唯一の亜高山帯には、美しい高山植物を季節を追うごとに観察できます。この登山口までは、森林管理所の管理する林道を通るため一般の人は、許可なく入れません。



吉田五区 正美さん  
つちかわ まさみ  
土川 正美さん

天然資源豊富な場所が、多くの市民のための、保養と教育とスポーツの場になることを願っております。もちろん、自然保護を第一に考慮する事は大切です。

市議会レポート

地域開発特別委員会を開催（8月29日）

地域開発特別委員会では、新体育館の方向性について、庁内で調査研究した内容の報告を受け、検討しています。

委員会として、今後も更に研究を続け、協議を重ねていくこととしました。

新体育館建設は、合併特例債の活用も視野に入れた大型事業です。新体育館建設による、将来の市の財政への影響を見るため、行政側に長期的な財政推計値の提出を求めています。第五次総合計画策定中のため、まだ提出できる段階ではないとの説明がありました。

新体育館については3案が提案されています

案	A	B	C
場所	中央スポーツ公園	開発誘導エリア	現体育館（新改築）
規模	6,130㎡	6,130㎡	4,233㎡
事業費	22.2億円	24.7億円	9.7億円
財源	合併特例債12.7億円	合併特例債20.6億円	合併特例債6.7億円
	国庫補助金7.7億円	国庫補助金1.9億円	国庫補助金1.9億円
			その他財源0.7億円
	一般財源1.8億円	一般財源2.2億円	一般財源0.4億円

※100万円以下四捨五入

12月定例会の予定

11月28日	開会日
12月8日	代表・ 一般質問
9日	
10日	
11日	委員会審査
12日	
15日	
16日	
19日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っています。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会あれこれ

◆議員定数見直しへの挑戦と市長。議会改革と若返りが理由とのこと。定数削減で活性化した事例を示せとの問いに答えなし。議会改革の肝は「議会の権能強化」「情報公開」「住民参加」で定数の問題ではない。更に、若い人が立候補しづらくなるのは明白だ。

◆庁舎耐震化工事に合わせ、長年要望の議場の椅子が新しくなりました。庁舎建設後40年、椅子は固定式で、何と言っても座る位置の自身のウレタンが、長い間にどこかにいってしまい、大変座り心地が悪く、腰にきました。改善されたい。

◆市長選のため早めの定例会となった。質問の準備など慌ただしかったが、市民の声を政策提言に生かす事ができた。声と言え、委員会に「手話言語法」制定を求めるため請願者が出席。当事者から困難等、心境を説明された。出席者全員心に響いたのでは。

議会基本条例推進委員会  
広報部会

- ◎鈴木 明子 ○宮田 伸子
- ◎五味 東条 横沢 英一
- ◎山口 恵子 古畑 秀夫
- ◎永井 泰仁

◎部会長 ○副部会長